

町長の改革日記

世界で活躍する

国際人になってほしい



5月22日(水)、大治中学校にカナダ領事館領事のマット・フレイザー氏をお招きして、2年生336人にカナダの紹介や領事の仕事について講演をしていただきました。マット氏からは未来のある子どもたち



●カナダ領事館領事をお招きして

に向けて、世界で活躍する国際人になってほしいとの熱い思いから、3つのアドバイスをいただきました。

① Vision(ビジョン) 将来に向けて夢を持ち、その夢を実現するために失敗してもいいから挑戦してほしい。

② Question(クエスチョン) 何事にも疑問を持つて質問し、新しいことに挑戦してほしい。

③ Impact(インパクト) 何事に対しても傍観者ではなく、参加者として人と関わり、現在の状況を打破してほしい。真剣に話を聞いていた子どもたちからは、なぜ領事になったのかなど、たくさん質問が投げ

かけられ、時間をオーバーするほどで、かなり興味を持ったのではないでしょうか。私は、子どもたちに世界に目を向け、広い視野で物事を考えてほしいとの思いから講演を依頼しました。これをひとつのきっかけとして、大きな夢を持つて成長してほしいものです。



●真剣に話を聞く子どもたち

5月16日(木)、中日ドラゴンズとの交流戦の前日に、親交の深い東北楽天イーグルスの星野監督と大村愛知県知事とともに食事をいたしました。オープン戦で来られたとき以来、



●星野監督、知事とともに

2か月ぶりの食事会でしたので、あつという間に楽しい時間が過ぎました。野球と行政という違いはありますが、指揮官としての熱い思いは同じなので、戦う男星野監督の話にとっても勇気をもらいました。今シーズンはかなり気合が入っており、もしかすると楽天が優勝するかもしれません。

大治町長

岩本 好広